

感動新聞

平成29年5月号 発行者 細川栄一

ビジネス経営の最前線で頑張っておられる方の役に立つ情報となればと思います。喜んで頂ければ幸いです。

本當の夢

ある登山家がいきました。
彼の目標は世界一の山に登ることでした。
彼は全てを犠牲にして、その目標のために頑張っていました。
努力の結果、彼はついに目標の山の頂上まで、あと少しのところまで到達して、翌朝の登頂のためにはテントを張って眠っていました。

しかし、その夜から急に天候が悪化してしまいます。

吹雪でテントを何日も足止めされて、食料や燃料が尽きた時、彼は、
「もう、無事にもどることはできない」

と覚悟を決めました。

死を覚悟した時、彼は暗闇の中で家族の笑顔を一人一人、思い出しました。

最近、おしゃれに興味を持ちはじめた小学生1年生の娘のことや家に帰ると真っ先に、

「パパ、お帰りなさい」

と言いながら玄関に走ってくる幼稚園の息子のこと。

「本當は危険なことではして欲しくないけれど、あなたの夢を奪うわけにはいけないから…」
と心配してくれた妻のことを思い出しながら、意識を失ってしまいました。

意識を失ってしばらくたつた後、彼は別の登山家によって奇跡的に救助されました。

助かった彼は友人に、

「もう少しでしたね。次は目標に向かって頑張ってください」
と言われます。

「世界一の山に登ることよりも大切な目標に気がついたよ。本當の目標はもっと身近にあった。家族を幸せにすることが必要だ」と答えました。

必死に何かを目指していると、周りのことが何も見えなくなります。
本當に大切な目標が何かを考えることが必要だと思えます。

全てををかけて自分の夢のために努力することは大切だと思います。

家族を犠牲にしなければ実現できない夢もあるかもしれません。

それでも、夢を目指して努力しているとき、

自分の夢を応援してくれる人や夢のために、

犠牲を喜んで受け入れてくれる人に、

感謝することを忘れてはいけません。

どんな優れた人でも、一人の力だけで実現できる大きな夢など存在しません。